

ときわの風

2016.4.15
vol.22

発行：常磐大学同窓会
編集：常磐大学同窓会事務局
水戸市見和1丁目430-1（常磐大学内）
電話029-232-2511（代）

WIND OF TOKIWA

E-mail dosokai@tokiwa.ac.jp

URL http://www.tokiwa.ac.jp/~dosokai/



▲池田会長(前列左)、富田学長(前列右)と課外活動奨励金を授与された代表学生たち。

10月2日に奨励金授与式が行われ、池田正則会長から給付団体の代表学生に奨励金が手渡されました。なお、2016年度同窓会総会後に給付団体の学生たちによる活動内容および成果に関する報告会を開催します。

同窓会では、2011年度に常磐大学同窓会課外活動奨励金制度を創設しました。この制度は、同窓会活動に対する認知度や理解度の向上を目的として、常磐大学の発展および社会貢献に寄与できる、またはそれが期待できる学生の課外活動に対して奨励金を給付するものです。2015年度は次の5団体に、奨励金(学生プロジェクト奨励金)を給付することが決定しました。

2015年度常磐大学同窓会課外活動奨励金給付者決定

団体名	活動成果の内容	給付金額
TSSボランティア TRICOLOR	「いわとき(岩手×常磐)プロジェクト」として、東日本震災ボランティア活動を実施しました。昨年はときわ祭で復興支援企画を実施しましたが、今年は岩手県の現状をより深く理解するための勉強会を実施し、9月には現地でのボランティア、12月には震災を風化させないために本学学生・教職員、地域の方々を対象に「震災語り部講演会」を開催しました。	200,000円
TEAM MASA	2013年度から開発を重ねてきた「さわれる富嶽三十六景」の中の代表的作品を、欧文印刷(埼玉県坂戸市)の開発したUVインクによる点字及び触図印刷技術を使って触察本を製作しました。完成した冊子は、全国の視覚特別支援学校及び関係支援団体等に寄贈し、学校その他、日常の身近な場所で美術作品に触れて楽しんでもらう機会を提供しました。	200,000円
地域政策研究会	北海道釧路市を会場として10月17日・18日の2日間開催された日本公共政策学会「公共政策フォーラム2015in 釧路」に参加しました。今回の学生コンペのテーマは、「東京、大都市から地方へ ひとの流れが地方を元気に」でした。推計人口と現在の人口を比較において人口急減が課題になり、日本のどの地方も直面していることが問題と考え、人の流れをどのように創るか、釧路市をはじめとした地方への政策提言を望まれていることを発表しました。	200,000円
池田幸也ゼミ	次の活動を通じて、地域に住む障害者や高齢者、外国人、児童などと交流を深めました。この経験を通して共に生きる社会づくりを進めていきたいです。 ①地域で生活する視覚障害者支援活動 ②生活困窮家庭の子どもたちへの学習支援活動 ③ガーナ料理教室の企画・運営による国際交流活動	198,947円
「常磐の森」再生プロジェクトチーム	水戸市、茨城県、地元企業等、地域の各種団体と連携し、常磐大学構内と沢渡川流域の公有地の両方にまたがって広がる「常磐の森」の環境整備とホテル再生を松原ゼミの学生を中心に結成した「常磐の森」再生プロジェクトチームで行いました。その一連の活動を環境省で後援する「低炭素杯2015」において、「TOKIWAの森から地域再生ESDプロジェクト0円の森完成」と題して発表し、損保ジャパン日本興亜環境財団が選ぶ「最優秀わくわく未来賞」を受賞しました。	137,684円



▲他大学の学生と一緒に臨時児童館で子ども達と触れ合う活動を行ったグループ。

千葉県 彩夏さん
コミュニケーション振興学部 ヒューマンサービス学科 3年
2015年9月10日に常総市で起こった水害被災地を支援するため、ボランティア・バス(以下ボラバス)の企画・運営を行いました。ボラバスは、10月26日(月)と10月31日(土)の二回運行し、参加者は常磐大学および常磐短期大学の学生、教職員合わせて71名になりました。このボラバス事業は、コミュニケーション振興学部ヒューマンサービス学

科の学生5名がTUVICの活動として実施しました。また、この事業は、直接人を派遣できないので、資金を提供して応援したいという関西の二つの民間組織(公益社団法人 Civic Force)「被災地NGO協働センター」からの寄付で実施させていただきました。当日の主な活動は常総市内のがれき撤去や片付け、避難生活をしている高齢者や子どもたちに憩いの場を提供する活動などでした。

例えば、10月31日(土)の活動では、がれき撤去と集会所で子どもと触れ合う活動の二手に分かれて行いました。がれきの撤去では、水害で塞がれた用水路を開通させ、水田などに流れ込んだゴミなどを回収する作業を行いました。この活動では他県から駆けつけた消防団の方々と一緒に班を編成し、交流しながら活動に取り組むことができました。子どもと触れ合う活動常総市災害ボランティアセンター・三坂児童館・水海道児童センター主催の「ボランティアとあそぼう 地域の輪! 元気なWAI!」は、水害で、子どもたちの居場所である児童館が被災したことで、遊び場が減り不安を抱えている子どもたちに対し、集会所を開放して遊びの機会を提供する活動でした。屋外にエアートランポリンを設置し、屋内では折り紙や塗り絵、ジエンガなどの玩具で子どもたちが思い思いに遊ぶサポートを行いました。また、集会所の和室では、親御さんや地域のお年寄りの方々が集まり、和やかに歓談する場面も見受けられました。昼食にはホットドッグが

2015年9月の関東・東北豪雨により、茨城県常総市では鬼怒川が決壊して、大きな被害を受けました。本学では、TUVIC(常磐大学ボランティアインフォメーションセンター)サークルが、常総市水害被災地支援活動としてボランティアバスの参加者を募集して、支援活動を実施しました。この様子について、TUVICの千葉彩夏さんに伺いました。

学生の活動状況報告(常総市水害被災地支援活動)

今回のボラバスの活動を体験して、テレビの報道だけでは知ることのできないがれき被害の実態や子どもたちの様子を肌で感じることもできました。最大の収穫は「実際に行ってみなくてはわからない」を実感したことです。



▲用水路に流れ込んだゴミなどを消防団の方々で撤去の様子。

常磐のマスコットキャラクターとして2012年7月7日に誕生した「ときわんこ」。

この「ときわんこ」のキャラクターグッズを順次製作し、ファミリーマート常磐大学店にて、数量限定で販売しております。購入を希望される方はお早めに。

現在販売しているグッズ
ミニタオル、ふせんセット、
ぷくぷくシール、クリアファイル

【お知らせ】TOKIWA
マスコットキャラクター
「ときわんこ」グッズ販売中!

2015年度 体育会秋季戦績報告

野球部秋季リーグ戦戦績

○関甲新学生野球秋季リーグ(3部中2部)
 常磐大学 ○ 9-3 ×茨城大学
 常磐大学 ○ 7-2 ×茨城大学
 常磐大学 ○ 4-0 ×埼玉大学
 常磐大学 ○ 5-0 ×埼玉大学
 常磐大学 ○ 7-0 ×松本大学
 常磐大学 ○ 3-2 ×松本大学
 常磐大学 ○ 2-0 ×宇都宮大学
 常磐大学 ○ 3-0 ×宇都宮大学
 常磐大学 × 2-3 ○作新学院大学
 常磐大学 × 2-6 ○作新学院大学
 ※8勝2敗 2位 2部残留

バドミントン部秋季戦績

○関東学生バドミントン秋季リーグ
 (男子)・・・3位
 男子 6部 C
 常磐大学 × 2-3 ○亜細亜大学
 常磐大学 ○ 4-1 ×浦和大学
 常磐大学 × 0-5 ○作新学院大学
 6部残留
 ○関東学生バドミントン秋季リーグ
 (女子)・・・6位
 女子 5部 B
 常磐大学 × 0-5 ○淑徳大学

剣道部秋季戦績

○第41回関東女子学生剣道優勝大会
 1回戦
 常磐大学 3 対 2 東家政大学
 村田紫 × 1-0 山口
 村田る × 1-0 細谷
 志村 ○ 1-0 金子
 菊池 ○ 1-0 平島
 青木 ○ 1-0 川野
 2回戦
 常磐大学 0 対 4 筑波大学
 志村 △ 1-1 佐々木
 菊池 × 1-0 乗田
 菊池 × 1-0 二宮
 青木 × 1-0 大西
 青木 × 1-0 鈴木
 ○第16回関東女子学生剣道新人戦大会
 1回戦
 常磐大学 1 対 2 立正大学

サッカー部秋季戦績

北関東学生サッカーリーグ(後期)
 常磐大学 × 0-2 ○作新学院大学
 常磐大学 ○ 3-2 ×群馬大学
 常磐大学 ○ 2-1 ×高崎大学
 常磐大学 × 0-4 ○冠工科大学
 常磐大学 × 0-6 ○上武大学
 常磐大学 △ 0-0 △宇都宮大学
 常磐大学 × 1-4 ○茨城大学
 常磐大学 △ 1-1 △関学院大学
 常磐大学 × 0-2 ○白鷲大学
 2勝6敗1引き分け
 ○北関東大学交流新人戦
 常磐大学 ○ 3-2 ×茨城大学
 常磐大学 ○ 3-2 ×流通経済大学
 常磐大学 × 2-3 ○白鷲大学
 常磐大学 △ 1-1 △冠工科大学
 常磐大学 ○ 2-1 ×宇都宮大学
 3勝1敗1引き分け

お知らせ
 2016年度常磐大学同窓会
 総会の開催を、**2016年6月25日(土)**に予定しています。
 会員の皆様へは、開催が正式に決定した後に、出欠回答票とともに郵送にて、ご案内いたしますので、ご出席くださいますようよろしくお願いいたします。

MESSAGE

時代の声がかきこえる、時代の声にこたえる

常磐大学同窓会の皆様、2015年度に国際学部長を拝命された松原です。国際学部が設置された1996年4月に本学に着任しましたので、総合講座科目で在学時に私とお会いしていた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。ご記憶に留めていただければ幸いです。とはいえ、卒業生にお成りになられてからはほとんどの方が「お久しぶり」か「初めまして」となるのでしよう。

貴同窓会の方から「筆啓上いただけませんか」とのことですが多くの方が「あんな何者」というのも本音ではないでしょうか。私は大学に入学したのが1983年ですので常磐大学人間科学部一学期の方と同じです。学部時代は化学を学び、修士課程で地球環境化学といわゆる理系で過ごしました。87年に環境科学会が設立されるなど

当時は環境科学が走りだったと思います。所属する修士課程の教員が学会設立に奔走する姿を目の当たりにしていました。その状況の中で、博士課程進学の際、素朴に「環境問題って科学の問題というよりも社会の問題では」と感じた私は社会工学専攻に転じました。博士論文の審査は社会学、教育経済学、科学史、科学論、環境計画、都市計画を専門にしている方にしていただきました。「ご専門は」と聞かれ、答えること

Science, Technology and SocietyあるいはScience and Technology Studiesと表記されるため、どっちでもSTSと略されています。科学技術と社会の関係を諸分野の視点から多角的に理解し、環境問題、生命倫理などの解決を図ろうとする分野と言えましょう。私の博士課程時代には外国はともかく、日本で一体どこで誰が研究しているのだろう、とい

う分野でした。時には「君のやろうとしていることは研究ではなく運動だな」と言われる始末でした。それでも幸い、散り散りではありましたが、国内にも相当数の研究者がいることがわかり、その方達の緩やかな集まりとして1990年にSTS Network Japanが組織され、それとは別に科学技術社会論学会が2001年に設立されました。東日本大震災、福島第一原子力発電所事故以降特に科学コミュニケーションの重要性は高まっています。本年1月22日に閣議決定された第5期科学技術基本計画に「科学技術と社会との関係を再考すること

が求められている」とあります。今回、自分のやってきたことをこのように整理する機会をいただき、思い起こすのは大好きな本学の校歌です。不十分ではあるでしょうが私なりに時代の声を聞き、応えてきたのかもしれない。授業でも度々校歌を話題にさせていただいています。お互い、時代



国際学部長・教授
 常磐大学同窓会顧問
松原 克志 先生
 東京工業大学大学院理工学研究科
 社会工学専攻博士課程修了
 学位：博士(学術)
 専門：科学技術社会論およびその教育

の声を聞き、時代の声に応えられるようになりましょう。
 さて今とはいうと、高齢化社会を研究テーマの一つとしています。手がかりは認知症です。アルツハイマー型認知症の患者(母)の介護体験を通じた実践的研究として写真展を開き、講演を機会に意見交換会を実施しています。ご興味ある方はネットで「母と猫の記憶」で検索していただければ幸いです。
 皆さまとお会いできることを楽しみにしております。

おくやみ
 後藤 和彦 様 (元人間科学部長)
 小山 博滋 様 (元コミュニケーション振興学部長)

異動情報の更新にご協力ください
 ご住所やご氏名の変更等により、本会からのご連絡をお届けてきていないことが多くあります。
 ご住所やご氏名に変更がありましたら、左記までご連絡ください。
 その他、同窓生の皆さまの近況報告等もお待ちしております。

*同窓会の持ちからも受け付けております。
<http://www.tokiwa.ac.jp/dosokai>
 メール: dosokai@tokiwa.ac.jp
 Fax: 029-231-6078
 郵送: 〒310-8585 水戸市見和1-430-1
 常磐大学内 常磐大学同窓会事務局宛

「管理栄養士等」募集中!
栄養ケアステーションで活動しませんか?

茨城県栄養士会では、県民の健康づくりを積極的に支援するために「栄養ケア・ステーション」を開設し、栄養ケア事業が実践できる人材を育成しています。活動時間や地域等条件を考慮しながら管理栄養士・栄養士として資格を生かす活動ができます。関心のある方は、県栄養士会へお問い合わせください。

〔活動内容〕 個別栄養相談、診療所等医療機関における栄養相談、生活習慣病予防及び介護予防の食事相談、特定保健指導、地域における食育講座など
 〔お問い合わせ〕 お申し込み先
 公益社団法人茨城県栄養士会
 TEL: 029-228-1089
 FAX: 029-228-4271
 (月曜) 金曜 9:00~17:00

*** 編集後記 ***
 2015年度ときわ祭のことになりましたが、私は家族と一緒に戦隊ショーを目当てに行ってきました。水戸で無料で戦隊ショーが見られるから、子どもにいいかなあという気持ちからでした。体育館ステージで繰り広げられる迫力あるアクションシーンに、息子は釘付け状態で見ていました。
 私は、学生時代のときわ祭では、ゼミナールで、客寄せにナース服を着て、血圧測定などをお客様に

したので、貴重な経験で楽しかったことを思い出しました。皆さんは、ときわ祭にどのような思い出がありますか? 毎年、ときわ祭では、学生が頑張っただけなイベントを実施していますので、みなさんも次回るときわ祭に是非足をはこんでください。(M)